



## 同音異義語と桜っ子

『じりつ』ということばには『自立』と『自律』があり、本校の子どもたちにはどちらの力も付けてほしいと願わずにはいられません。ちなみに『自立』は社会のルールに則って他に依存しないで自分だけの力で行動、生活することを意味します。もう一つの『自律』は自分で決めたルールに従うことや自分を制御することを意味するそうです。

先日、箱根駅伝で優勝した青山学院大学の原監督は

「青学の選手達はすでにみな自立しており、チームも指導者もそこに余計な労力を使わない。加えて、彼らは自律できているので、優勝するための課題を自分に課して今回の大会に臨み、成果をあげた。」

と、インタビューに答えていました。

今年度の運動会。コロナ禍での開催だったこともあり、種目数にこだわらない分、運動会へのめあてにこだわって取り組み、シートに思いを記入しました。保護者の皆様もメッセージをありがとうございました。子どもたちの『これからも続けたいことや学校生活に生かしたいことを書こう』という欄を少しご紹介します。

- ・あきらめないで取り組んだらうまくできた。だからこれからもあきらめないでやりたい。
- ・勉強もあきらめずに自分からわからないところを勉強して、エイサーみたいに完璧にできるようにしたい。
- ・『困っている人を助けて声をかける』をめあてにした。これからの学校生活にも生かせるらしい。

なんと、本校の子どもたちにも自分で決めたルールがあったのです。『自律』するための思いは高まっているのです。後は、その自分で決めたルールを誘惑に負けずに自ら律して実行することができるかどうかです。

1月下旬から6年生が、『桜台小学校の子どもたちが挨拶できる、その基礎を卒業までに作りたい』という自分たちで決めたルールをもとに、正門前で『おはよう運動』をしています。自分たちで決めたルールを自ら律して実行しているのです。結果が伴わないとやる気は失せるものなので、何とか1年生から5年生の子どもたち全員の方で結果を出せたらいいなと願っています。言うまでもなく、6年生のみんなが自ら律してお手本となることを踏まえてですが。

『自立と自律』を備えた桜っ子が羽ばたくときが本当に楽しみです。

